

船舶事故等調査報告書

平成23年7月28日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010那第79号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年12月9日 02時55分ごろ	
発生場所	<p>沖縄県^{たけとみ}竹富町竹富島南方沖</p> <p>竹富町黒島灯台から真方位066°5.0海里付近 (北緯24°15.3′ 東経124°05.4′)</p>	
事故等調査の経過	<p>平成22年12月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。</p> <p>原因関係者から意見聴取を行った。</p>	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 漁船^{かずふく} 和福丸、1.95トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 ON3-25970（漁船登録番号）、個人所有</p>	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	船底部に擦過傷	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか1人が乗り組み、船首約0.5m、船尾約1.0mの喫水で竹富町^{はてるま}波照間島北方沖の漁場に向けて約4.0ノットの速力で南進中、平成22年12月9日02時55分ごろ、竹富島南方沖のリーフに乗り揚げた。</p> <p>船長は、竹富島の南方沖を南進中、竹富町黒島港の入り口灯浮標と竹富町大原港の入り口灯浮標とを見間違えていたので、予定の進路を航行していると思った。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北、風力 2</p> <p>海象：潮汐 低潮時</p>	
その他の事項	<p>本船は、波照間島北方沖の漁場への航路を教わるために平成22年12月9日01時00分ごろ沖縄県石垣市の港を出港していた。</p> <p>本船は、船首の舳先にリモコン装置を備えており、船長が、船橋で操船するより、舳先で操船した方がよいと思い、懐中電灯で船首方を照らしながら舳先で操船していた。</p> <p>本船は、自力で離礁できたが、海上保安庁の指示で、石垣市石垣漁港に戻った。</p> <p>乗組員は、2人とも救命胴衣を着用していた。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、竹富島の南方沖を南進中、船長が、夜間航海の経験が初めてであったので、灯浮標の灯火を見間違えたことから、予定の進路であるものと思い込んで航行し、竹富島南方沖のリーフに乗り揚げたものと考えられる。</p>

原因

本事故は、夜間、本船が、竹富島の南方沖を南進中、船長が、灯浮標の灯火を見間違えたため、予定の進路であるものと思い込んで航行し、竹富島南方沖のリーフに乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。